

■ 各日の質問予定者

日	順序	氏名
3月18日(金)	1	高橋浩輔
	2	丸山章
	3	杉田勝典
	4	こんどう彰治
	5	橋本洋一
	6	牧田正樹
	7	石田裕一
3月22日(火)	8	宮崎朋子
	9	小山ようこ
	10	江口修一
	11	山田忠晴
	12	ストラットン恵美子
	13	本山正人
	14	栗田英明
3月23日(水)	15	中土井かおる
	16	渡邊隆
	17	上野公悦
	18	鈴木めぐみ
	19	大島洋一
	20	宮川大樹
	21	平良木哲也
3月24日(木)	22	高山ゆう子
	23	安田佳世
	24	橋爪法一
	25	滝沢一成
	26	宮越馨

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	<p>1. 衆議院議員定数減及びそれに伴う衆議院小選挙区の区割り見直しについて</p>
6 番 高 橋 浩 輔	<p>(1) 令和2年度国勢調査の人口等基本集計結果に基づき、いわゆる「一票の格差是正」のため、衆議院議員選挙区画定審議会(区割り審)において「10増10減」の方針が示された。上越市のある本県は「1人減」の対象となっているが、このことについてどのように思うか見解を聞きたい。</p> <p>(2) 報道によれば、区割り審の県知事に対する意見照会に対し、知事は県内市町村長の意見も添えて回答をしたとされている。上越市長としてどのような意見を伝えたのか聞きたい。</p> <p>(3) 地方においては少子化、高齢化、急速な人口減少に直面し、課題への対応に苦慮している。当市においても同様で、今後ますます国との連携が重要になってくる。そうした状況の中において、地方の声を確実に国政に届け、政策に反映させるために、市長としてどのようなことに意を用い、具体的に何をしていくのか、考えがあれば聞きたい。</p> <p>2. 上杉謙信公没後450年、生誕500年に向けての取組について</p> <p>(1) 6年後の2028年に謙信公没後450年、8年後の2030年には謙信公生誕500年を迎える。これを千載一遇の好機としていかし、様々な取組を行うべきと考える。このことについて以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 市長公約には、通年観光の柱として「春日山城を上杉謙信公の聖地とし」とあるが、市長の考える「聖地」とはどのようなものをイメージしているのか聞きたい。</p> <p>イ 高田開府400年祭では、本祭の年を中心に前後1年間と準備期間を含めて、足かけ4年間の取組があった。また、今後の取組内容によっては時間を要するものもある。こうしたことに鑑み、できるだけ早期に準備に着手すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 謙信公については、高田開府以上に全市的な取組の可能性と多様な分野への波及効果が期待される。その効果をあまねくいかすためには、まずは綿密なプランを立てることが重要と考えるが、時期や手法等、現時点での見通しがあれば聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
2	<p>1. 令和5年度予算に計上予定の地域(各区)独自予算及び運営、地域協議会の関与について</p>
14 番 丸 山 章	<p>(1) 市長は、地域協議会と市職員が主体的になって独自予算の編成に取り組んでほしいとの意向を示し、令和4年度で独自予算の検討を行っていくとしている。しかし、持続可能なまちづくりを進める上で、地域ビジョンづくりは必須であり、それには地域協議会と市職員との協議期間をはじめ、住民からの意見聴取、まちづくり振興会等や市の関連部署との調整、事業主体の選定など、予算提案まで一定期間を要することになる。そこで、次の点について聞きたい。</p> <p>ア 令和5年度の予算編成作業は本年10月頃から行われるが、いつまでに実施要綱等を地域(各区)に示す予定なのか。</p> <p>イ 市の方針と反する予算提案であっても認めると解して良いのか。</p> <p>ウ 現在の「地域を元気にするために必要な提案事業」は、提案があった後に市で方針決定、具体的対応(予算化等)をすることになっているが、今後はこれらの内容についても地域協議会(委員)が関わっていくことになると解して良いのか。</p> <p>(2) 地域独自の予算規模等について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 令和4年度予算に計上された地域活動支援事業1.8億円の事業費と同程度の予算規模を予定しているのか、予算の上限はなしとするのか。</p> <p>イ 市長は、人材不足になっている地域(各区)があるのは明らかであるとの認識を示している。区によって協議、意見聴取、調整等が遅延し、不十分な予算提案又は、予算提案に間に合わないことも考えられる。ついては、地域活動支援事業のように均等割・人口割合に、面積割合を加算した額を決定し、その年度に余った予算は区の基金として積み増しできるようにした方が妥当で、しかも公正性が担保されると考えるがどうか。</p> <p>ウ 市長は、事業の成果が認められた区には予算を上乗せするので、各区で一層頑張ってもらいたい旨を伝えている。地域間競争の意図が見え隠れするが、上乗せ額によっては、公正性等の観点から一定程度の調整が必要ではないか。</p> <p>(3) 事業運営、地域協議会委員の位置付けについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 各区で複数の事業が提案された場合、内容次第で複数の事業を認めると解して良いのか。さらに、各区の提案を比較した場合、内容の良し悪しは出てくると思うが、最低各区一事業は必ず認めることとしているのか。</p> <p>イ 予算の最終決定の際の評価・決定について、市職員(仮称、選定委員会等)又は第三者機関等を予定しているのか、あわせて評価・決定基準を設けるのか。</p> <p>ウ 地域(各区)の事業成果が思うように上がらない場合、助言者・指導者の配置等、どのように成果を出せるよう対策を立て、支援し、成功に導いて行こうとしているのか。</p>

	<p>エ 地域協議会(委員)は、毎年度、予算編成に関わることになるため、市民の注目度、期待感等は高まってくる。それに伴い、委員の負担、責務も大きくなる上、結果責任がつきまとうことも想定できるため、責務に見合う一定程度の報酬(賃金)の支給を考慮すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 予算はソフト面に限定したいとの意向とはいえ、地域の活力を向上させる更なる効果的な手段として、ときにハードとソフト両面での施策の必要性も生じてくる。その際は、ハード事業を対象とするのか。または、市は独自予算と別にハード事業を担うと解して良いのか。</p> <p>(5) 市長は、地域を運営していく上で、人材不足は大きな課題であるとし、専門性の高い職員、地域のことが分かる職員を育てていきたいとしているが、既に専門職の採用は行っている。今後、各区に採用枠を設けて採用試験を行う考えなのか。また、専門性の高い職員の採用職種・試験方法及び地域の分かる職員をどのように育てていくのか聞きたい。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>3  26 番 杉 田 勝 典</p>	<p>1. ポストコロナを睨んでのデジタル化などの取組について</p> <p>(1) 上越妙高駅前にてできた県内初の屋内外型の最先端ローカル5Gラボ「JM-D AWN」をいかしたDX分野の企業集積の当市における可能性をどう捉えているか。ここに入居する企業に対する、若者の当市へのUIJターンなどの促進に向けた支援策をどう考えているか聞きたい。</p> <p>(2) デジタル化による行政手続の拡充を模索するが、今後スマートフォンを利用して、さらに利便性を高める考えはあるか。また、現時点での準備状況はどうか。</p> <p>2. 森林整備と環境対策の両立について</p> <p>(1) 森林整備と環境対策の両立を目指して、温室効果ガス削減・吸収量分を売買できる県の「J-クレジット制度」の活用を模索・研究できないか。</p> <p>3. 上越産日本酒の輸出へ向けて</p> <p>(1) 「農林水産物・食品」の輸出額が、海外で人気の高い牛肉や日本酒の牽引もあり、初めて1兆円を超えた。県産日本酒がGI登録された今、上越産日本酒の海外市場販路拡大に向けて、当市も輸出施策に取り組めないか。</p> <p>4. 直江津港に関連する取組について</p> <p>(1) 外貿コンテナ(釜山・中国航路)の輸出入取扱貨物量等がここ2年ほどコロナ禍で減少傾向にあるが、市内企業の操業に影響はないのか。今後の同航路の物流拡大に向けた見通しはどうか。</p>

	<p>5. 学校現場の課題解決や多子世帯への給食費補助について</p> <p>(1) 「GIGAスクール構想」により最近の宿題はタブレットを使ったものもある。子どもたちが宿題に取り組めるほか、タブレット活用能力を高めるためにも、放課後児童クラブ施設の通信環境(Wi-Fi)を整えてはどうか。</p> <p>(2) 多子世帯の経済的負担軽減のため、小中学生の子ども3人以上を養育する世帯に対して、3人目以降の給食費の全額ないし半額の補助制度を考えられないか。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>4</p>	<p>1. 都市計画道路飯寺町線等について</p>
<p>30 番 こ ん ど う 彰 治</p>	<p>(1) 令和2年12月定例会での答弁では、未供用区間の整備については様々なニーズを勘案しながら検討を継続するとともに、通学路の安全対策にも意を用いているが、千葉県八街市の事故を受けその後の考えについて聞きたい。</p> <p>(2) 都市計画道路飯寺町線の計画が見えない中、寺町一丁目地内(通称表寺線)の通学路の安全性について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 現在の通学路(歩道)はマウントアップで不陸があり冬場において除雪ができず車道を通学している。安全確保について聞きたい。</p> <p>イ 以前の約束事で冬場の除排雪は常に行い安全は確保するとしていたが、現状について聞きたい。</p> <p>2. 高田城址公園陸上競技場におけるスタンド改修について</p> <p>(1) 平成29年6月に中央スタンドの改修と東側スタンドの新築がされたが、いまだ西側のスタンドが新築されていない。このことを受け、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア この施設は上越市公の施設の適正配置計画や次期総合計画、財政計画など主要計画の策定時に併せて検討するとしているが、現段階における検討状況について聞きたい。</p> <p>イ 平成23年10月に策定された上越市体育施設整備計画における評価基準では、屋外施設としてはトップの点数であり、優先順位も高く利用度も高いと認識している。しかしながら、同計画では平成29年度までに完了したとしているが、西側のスタンドが未だかつて新築されておらず中途半端な状態である。改めて西側スタンドを新築する考えについて聞きたい。</p> <p>3. 今冬の除雪について</p> <p>(1) 今冬の登下校時における通学路の苦情などの問題点について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 苦情などの問題点は寄せられたのか、また、あったなら内容とその対応についてはどのように処理されたのか聞きたい。</p>

	<p>イ 通学路において安全確保のための除雪がされていない箇所を多々目にした が、教育委員会としてどのように対応していたのか聞きたい。また、この件に ついては降雪前に担当課等と協議をしたと思うが、この点についても通常に履 行したのか聞きたい。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>5</p>	<p>1. 市職員の意識改革等について</p>
<p>16 番 橋 本 洋 一</p>	<p>(1) 市長就任から4か月が経過したが、職員に対する初訓示で「明るく楽しく前 向きに進んでいける上越市にしたい。」と話した市長の思いや、年頭訓示で「一 番大切にしなければならないのは挨拶」と指示した市長の姿勢は、どの程度職 員に浸透していると考えているか。また、職員との対話などを通じ、現在の職 員の業務の進め方について、どう思っているか聞きたい。</p> <p>2. 地域活動支援事業の実施に関する考え方について</p> <p>(1) 令和4年度の地域活動支援事業の実施主体について、「市が審査と採択を行 う。」としていたものを「地域協議会が希望すれば従来どおり地域協議会に審査 等を依頼する。」と方針変更したが、その背景と理由、各協議会の動向について 聞きたい。また、地域活動支援事業や地域を元気にするために必要な提案事業 と市長が目指す地域自治体独自の予算編成との関連性はどうか。</p> <p>3. 市の主要計画の策定について</p> <p>(1) 令和4年度に主要計画が改定される予定とのことであるが、策定に向けた考 え方、スケジュールについて聞きたい。また、「まちづくりを推進する公約プロ ジェクト」との関係はどうか。</p> <p>4. 「佐渡島の金山」世界文化遺産登録に向けた取組について</p> <p>(1) 「佐渡島の金山」世界文化遺産登録に向け、市としてどのような取組を行っ ていくのか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
6	<p>1. 市の平和行政の推進に向けた取組について</p> <p>(1) 2021年1月22日に発効した核兵器禁止条約について、唯一の被爆国で核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の取組をリードする使命を有している日本が同条約に参加していないが、このことに対する市長の所見を聞きたい。</p> <p>(2) 非核平和友好都市宣言・平和首長会議に加盟している本市として、これまでの平和行政の総括と今後の取組について聞きたい。</p>
13 番 牧 田 正 樹	<p>2. 市施設における電力調達について</p> <p>(1) 市施設の年間電力消費量と電気料金はどのくらいか。また、新電力の導入など経費削減の状況はどうか。</p> <p>(2) 今後、更なる経費削減に向けて、新電力の導入を促進する考えはないか。その際、脱炭素社会に向けて環境配慮型の電力入札などを行う考えはないか。</p> <p>(3) 公共施設に太陽光パネルを設置するとしているが、どのような方針で取り組む考えか。</p> <p>3. IT活用による諸施策について</p> <p>(1) 「域内循環型経済」を今後更に進めていく必要があると考える。具体的には、「電子地域通貨」などの取組を行う考えはないか。</p> <p>(2) 市道の維持管理に係る市民協働投稿サービスに関して以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 市道の管理瑕疵による賠償額と件数について聞きたい。</p> <p>イ 市道の維持管理に係る市民協働投稿サービスを導入する考えはないか。</p> <p>(3) ITが普及していく中で、高齢者等デジタル機器の操作に不慣れな人に対する配慮が欠かせないと思うが、どのように取り組んでいくか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
7	<p>1. 義務教育終了後におけるひきこもりと家族への支援体制づくりについて</p> <p>(1) 「ひきこもり」は、将来の「8050問題」や「生活困窮者」への予備群となる可能性があると考えますが、市として、義務教育終了後における「ひきこもり」の人数等の現状をどのように把握しているか聞きたい。</p> <p>(2) ひきこもりの方の中には、障害者手帳などを取得できないグレーゾーンの人たちが隠れていると思われるが、どう支援していくか。一步踏み出させるためのコーディネーターや居場所づくりなど、支援体制の確立が必要と考えるがどうか。</p>
18番 石田裕一	
順位 議席 氏名	質 問 事 項
8	<p>1. 上越市ワーク・ライフ・バランス推進事業について</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者が増えることは、若者が帰ってきても安心して働けることにつながると考える。また、コロナ禍で、仕事以外の生活との両立を図るという考え方は変化しているのではないかと考えるが、市はどのように取り組むか聞きたい。</p> <p>2. 「高齢者の暮らしの快適性向上」と「まちをきれいにするため」のアプリの活用などについて</p> <p>(1) コロナ禍で高齢者の免許返納率は減少したと聞く。大事なことは、返納後も、気兼ねせず楽々快適に移動できる仕組み作りであると考えます。市としては、今後その課題にどのように取り組んでいくか聞きたい。</p> <p>(2) どこへ行ってもきれいなまちであることは、市民の快適な生活と当市の魅力につながると考える。今後、従来のやり方に加えて、市民がクリーン活動に楽しく参加できるアプリの活用やポイントの付与など、成果が見える取組も必要と考えるが、市の考えを聞きたい。</p> <p>3. これからの時代の、より市民に開かれた庁舎を目指す必要性について</p> <p>(1) 市役所木田第1庁舎1階のエントランスホールや地下の売店、食堂は庁舎の顔になるような場所であってほしいが、これまでそのような調査や検討はしてきたか。また、より市民に開かれた庁舎をこうしたところから目指す必要性もあると考えるが、市の考えを聞きたい。</p>
7番 宮崎朋子	



順位	質 問 事 項
議席 氏名	
9	<p><b>1. 市内中学校の校則の現状について</b></p> <p>(1) 校則を全生徒や保護者に理解してもらうための周知を毎年どのように行っているのか。</p> <p>(2) 生徒手帳(生徒心得)のある学校とない学校がある。生徒が校則を正しく理解するためにも、生徒手帳等を制作すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 市内の市立中学校では、それぞれの学校によって、制服の着方や頭髪、身だしなみなどの校則に違いがあるが、教育委員会としては、どのように認識しているのか。また、生徒から「なぜ、そのようなルールなのか」と問われた際、生徒が納得する説明はできるのか聞きたい。</p> <p>(4) 生徒の人権を尊重し、自由を奪わないことが大切だと思うが、校則がどのような教育的意味を持つのか聞きたい。</p> <p>(5) 校則については、学校を取り巻く社会環境や、生徒の状況の変化に応じて積極的に見直す必要があると考える。生徒や保護者を交えて議論し、生徒が主体の学校生活を作っていくべきと思うがどうか。</p>
3 番 小 山 よ う こ	<p><b>2. 市内在住の高校生に対する支援について</b></p> <p>(1) 令和6年度で新潟県立久比岐高等学校が募集停止となることにより、市内の高等学校は高田地区に集中し、遠方の生徒は通学費用が非常に大きな負担となる。市内の子育て世代が安心して暮らせる環境づくりと次世代を担う人材育成及び少子化対策も兼ねて、定期券等の購入に係る費用の一部を補助する「通学定期券購入費補助金」について県に対し働きかけをする考えはないか。</p> <p>(2) 実業高等学校に通う生徒たちの「がんばり」を「かたち」にしていくために、国家資格の取得や「ジュニアマイスター」「アグリマイスター」「マリンマイスター」等の称号認定に係る費用の一部を補助する制度を設けるべきと思うがどうか。</p> <p><b>3. 市民の交通安全に対する意識について</b></p> <p>(1) 高齢者安全運転支援装置設置補助金交付事業を開始するとしているが、制度を実施することになった経緯と、自家用車への安全運転支援機能付きのドライブレコーダーや急発進等抑制装置の設置が安全運転にどのような効果があるのか聞きたい。また、事業の目標を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	<p><b>1. 地域自治推進プロジェクトについて</b></p> <p>(1) 今後、28 地域自治区の区割りを変更する予定があるか聞きたい。</p> <p>(2) 市長は、各地域自治区に地域づくりを牽引するリーダー的人材がいると考えているか。また、いないと考えている場合、行政がリーダーを担うのか。</p> <p>(3) 地域協議会は、地域をマネジメントし、地域ビジョンを作り上げ、地域住民の理解を得て「新たな地域づくり」をするものと考えているが、どれだけの時間がかかると見込んでいるのか。</p> <p>(4) 地域内分権で「新たな地域づくり」や「小さな公」に対して大型独自予算を組むとしているが、その地域予算を組める人材は誰なのか。また、どれだけの時間がかかると考えているのか。</p> <p>(5) 人口減少が進み、地域が縮小する中、令和4年度には「上越市第7次総合計画」や「上越市第3次財政計画」、「第7次上越市行政改革推進計画」、「第4次上越市定員適正化計画」の策定を予定していることに加え、「第4次上越市公の施設の適正配置計画」の取組も進める必要がある。それらも理解した上で、令和4年度内に「地域内分権」や「地域独自の予算編成」の検討に向けた議論が本当にできるのか。</p>
27 江 口 修 一	<p><b>2. ふるさと納税について</b></p> <p>(1) 地域自治区内でふるさと納税返礼品としての農産品の開発に協力してもらい、寄附金の一部をその地区に還元するような仕組みを作れないか。</p> <p>(2) 将来的に設置を目指す東京事務所を活用し、企業版ふるさと納税の営業活動を積極的に実施できないか。</p> <p><b>3. 通年観光プロジェクトと広域観光について</b></p> <p>(1) 令和4年度に「上越地域SEA TO SUMMIT」を開催するとしているが、今後も環境スポーツイベントの継続は必要と考える。特にアフターコロナの中、アウトドアでの健康志向のスポーツとして、自転車の活用推進を上越地域三市で企画できないか。また、佐渡島のアピールも含めたサイクルツーリズムの促進に向け、新たな観光コンテンツ企画として関東圏まで広げて取り組めないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
11	<p>1. 任意接種の带状疱疹ワクチン接種について</p> <p>(1) 当市における带状疱疹の年間患者数の現状を聞きたい。</p> <p>(2) 当市における带状疱疹ワクチン接種の接種費用と接種状況を聞きたい。</p> <p>(3) 当市における带状疱疹ワクチン接種の広報や周知は今後どのように行う予定か聞きたい。</p> <p>(4) 市では、任意接種である带状疱疹ワクチン接種について、どのように考えているか。また、この予防接種に対する費用助成を行い、被接種者の費用負担軽減と接種推進を行っている自治体もあるが、当市でも費用助成を行う考えはないか。</p>
12 番 山 田 忠 晴	<p>2. 児童生徒に定期的に行われるアンケートや聞き取り面談について</p> <p>(1) 児童生徒に対し定期的に行われるアンケートや聞き取り面談は、いじめや虐待などの発見につながり、教育現場には大切な調査と考える。当市では、どのような形式や内容でアンケート及び聞き取り面談を行っているか聞きたい。</p> <p>(2) 調査結果はどのように管理され、調査によって判明した問題などの対応はどのように行われているか聞きたい。</p> <p>(3) 調査によって問題解決に至った事例について聞きたい。</p> <p>(4) 調査内容の変更や追加は、どのように考えられているか。また、アンケートは今後も継続していくと思うが、市では重要性をどう考えているか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
12	<p><b>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) コロナ禍における様々な世代のメンタルヘルスの不調について多く報道されているが、当市でのメンタルクライシスケースは、どのようなものが寄せられていたか。また、それに対する市のサポート体制について聞きたい。</p> <p>(2) 保育園・幼稚園や小中学校等が、新型コロナウイルス感染症に伴って休園・休校となった場合、保護者も仕事を休まざるを得ない実情がある。欠勤による保護者自身の減収のみならず、雇用者側も従業員不足が生じるなど、かなり混乱していると聞く。家族が濃厚接触者となり欠勤せざるを得ない状況における、市の支援について現況を聞きたい。</p> <p>(3) 保護者や児童生徒から「手洗い場の水が冷たいと、しっかりと手洗いができないので、学校でもお湯を出してほしい」という声をよく聞く。新型コロナウイルス感染症対策のために、手洗い場でお湯を使えるようにすることを検討する必要があると考えるがどうか。</p>
5 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p><b>2. 「多頭飼育崩壊」問題について</b></p> <p>(1) 多頭飼育崩壊を防ぐためには、飼い主の生活の立て直しなど福祉や医療の視点を加えた総合的な支援が必要と考えるが、上越市内の多頭飼育崩壊の現状とその対応について聞きたい。</p> <p>(2) 飼い主に対しての啓発やマイクロチップ装着の促進、TNR活動などの支援は重要であり、自治体と地域の愛護団体が連携して取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p><b>3. 上越市における入湯税について</b></p> <p>(1) 当市の入湯税は、平成17年の合併時に各市町村で設定された税額を上越市に統一して設定され、6,500万円以上の税収があったものの、その後、温泉ブームが下降する社会背景に伴い年々落ち込み、コロナ禍である令和2年度では1,500万円へと減少し、推移している。このような状況を踏まえ、今後、当市の入湯税についてどのような対応を考えているか聞きたい。また、この主な使い道について詳細を聞きたい。</p> <p>(2) 当市の入湯税は、現在、中学生以上1人1日につき100円、小学生1人1日につき50円とし、未就学児は無料となっている。総務省による入湯税の額は、法律上は1人1日150円を標準としているものの、市町村ごとにこれとは違う金額を定めることもでき、宿泊客と日帰り客とで金額が変わる場合がある。県内主要都市は、150円と定めているところが多い中、当市における入湯税額が変わらない根拠と、今後の金額見直しについての見解を聞きたい。</p>

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
13		
15 番 本 山 正 人	<p>1. 「地域の宝」認定制度について</p> <p>(1) 「地域の宝」認定制度は、「有形・無形及び文化財の指定・未指定にかかわらず、本市に所在する歴史上又は芸術上・文化史上価値を有するもの及び生活の推移の理解に資するものなどのうち、地域住民が大切にし、かつ、よりどころとする文化財を『地域の宝』として定め、次世代への継承を図ること」を目的として募集している。現在、86件認定されており、今後まだ増えると思うが、申請者の思いを生かしていくために、市としてどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p> <p>(2) 認定の要件では、「保存・活用する取組が、所有者等によりおおむね3年以上行われており、認定後も継続されることが見込まれること」、「地域住民、特に地域子どもたちを対象とした保存・活用の取組がおおむね年1回以上行われていること」とされているが、「宝」によっては市の財政支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 観光振興について</p> <p>(1) 市長は、通年観光プロジェクトで3本柱を挙げたが、13区には特色ある観光スポットがたくさんあり、特に中山間地では、交流人口や関係人口の拡大を目指し、果敢に取り組んで来た経緯がある。偏重なく回遊できる観光に力を入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) ウィズコロナ時代においては、感染拡大防止を大前提として、観光需要の回復を図る必要がある。これからの観光は、今までの状況に戻るのではなく、「新しい観光」に生まれ変わらせることと考える。社会的変化の先を見据え、地域に芽生えた新しい関係性や取組を支援強化するべきと考えるがどうか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
14		
25 番 栗 田 英 明	<p>1. 「共創」と「協働」について</p> <p>(1) 共創の推進とは、協働を更に進化させたものと言われているが、「共創」と「協働」の違いは何か。</p> <p>(2) 上越市自治基本条例では、協働は自治の基本原則とされている。私は、協働が機能していると思っていないが、協働を推進するためには何が必要と考えるか。</p> <p>(3) 地域協議会は、「協働の要」と位置付けられているが、どんな役割が求められているか。また、共創の推進の中では何が求められるのか。</p> <p>(4) 地域の共創、協働のパートナーの一つとして住民組織が考えられる。旧町村の地域自治区にはまちづくり振興会等が設置されているが、合併前上越市の区域にはそれに見合う組織がない。住民組織の支援、創設をどう考えているか。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
15	<p>1. 思春期の女性の生理痛(月経困難症)への対応について</p>
9 番 中 土 井 か お る	<p>(1) 令和3年7月に内閣府、文部科学省、厚生労働省が連携し、「ライフステージに応じた女性の健康推進策」である不妊予防支援パッケージを取りまとめた。将来、不妊につながるリスクを早期発見し治療に結び付け、重症化予防を行うことが重要であるとし、婦人科等にアクセスしやすい取組が必要であると公表している。これらについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 当市では、中学校での生理痛の相談対応をどのように行っているか。</p> <p>イ 生理痛は、進行すると子宮内膜症等を発症し、不妊につながる危険性があると言われている。不妊予防支援パッケージでは、その早期発見のために、学校の定期健診の保健調査票に月経に伴う症状を記載する仕組みをつくり、適切に婦人科につなげることを推奨しているが、取組に対する考えを聞きたい。</p> <p>2. 「子育て全国一」を目指す子育て政策について</p> <p>(1) 上越市子ども・子育て支援総合計画(令和2年度～令和6年度)において、「子どもの居場所づくり」が掲げられているが、現在の進捗状況と今後の具体的な取組について聞きたい。</p> <p>(2) 核家族や共働き家庭等の増加により、子どもの放課後の居場所である「放課後児童クラブ」の必要性が高まっており、利用を希望する保護者が増えていると思うが、利用状況等の現状はどうか。また、人材不足やニーズの多様化等により民間委託を進めている自治体も出てきているが、当市ではそのような考えはないか。</p> <p>(3) 多様な支援が必要な保護者が増えてきているが、保護者が一時的に養育できなくなった場合、どのように相談対応しているか。また、国の子育て短期支援事業(ショートステイ)は、現在700以上の自治体が行っている事業だが、当市でも今後行う計画はあるか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1. 屋根雪下ろし命綱固定アンカーの普及について</p>
24 番 渡 邊 隆	<p>(1) 屋根雪下ろし転落事故を未然に防ぐための命綱固定アンカー設置を促すために、市の広報やホームページ等で啓発を行っていることは一定の理解をする。新潟県住宅の屋根雪対策条例第10条(住宅の屋根雪下ろしを行う際の安全確保)では、住宅の屋根雪下ろしを行おうとする者は転落等の事故の発生を未然に防止するための器具の使用その他安全上必要な措置を講ずるよう努めるものとされているが、設置実績をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 昨冬のような大雪災害の状況に至っては、ボランティアやシルバー人材センター等への雪下ろし作業の依頼は現在できないと聞く。また、今冬は、雪下ろし作業を行っていた業者に依頼するも転落防止対策を考慮し断られるという状況もあったと聞く。高齢化や建設業の担い手確保も厳しい現況において、安全に効率よく雪下ろし作業を行うために、命綱固定アンカー設置補助件数の更なる増加が切に必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 今後、雪下ろし作業が必要な家屋の新築や屋根工事を伴う増改築について、条例により転落防止措置を講ずることを義務化すべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 消防団員の確保について</p> <p>(1) 今定例会において、消防団の団員不足に伴う負担軽減の措置として訓練、行事の見直しに加え団員報酬の増額が提案されている。団員の負担軽減を主たるものとして見直しを図ったものとするが、この検討はどの段階での意見集約であったのか。加えて、崇高な任務に当たる団員の処遇改善策として市民税の減免措置を取り入れ、団員の確保、拡充に当たるべきと考えるがどうか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17	<p><b>1. 公の施設の適正配置の在り方について</b></p> <p>(1) 市長は、令和4年3月定例会における我が会派の橋爪市議団長の「第4次上越市公の施設の適正配置計画」に係る総括質疑の答弁で、「厳しい財政状況にある中で、次世代に過度の負担を強いることのないように、適正配置を始めとする行財政改革の取組は避けて通れない。引き続き協議としている8施設については、早期に方向性を示していきたい。」との認識を示した。そこで、次の点について市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 市長は「前市政からの転換」を強調されている。村山前市政では、これまで「持続可能な行財政改革」、「そのための事務事業の改善、見直し」を強力に押し進めてきた。市長は就任してまだ間もないとはいえ、我々には違いが見えてこない。総括質疑で、市長は、公の施設の適正配置についての答弁の中で、施設の取捨選択の必要性について答弁された。この答弁に対し、市民から「効率性や採算性が先にありきではないか」との批判の声が寄せられている。今後、どのように公の施設の適正配置を進めていくのか。</p> <p>イ 市民いこいの家及びろばた館の存続について、これらの2つの温浴施設では、関係する地域協議会での協議をはじめ、地域住民の憩いの場・交流の場として存続を求めるアンケート、署名活動も行われており、市長としてこの声をどのように捉えているか。施設を存続すべきと思うかどうか。</p> <p><b>2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大における小規模事業者への支援拡大について</b></p> <p>(1) 県では、3月6日に新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止等重点措置が解除され、飲食店関連に対する休業要請や時短要請が解除されたが、長期間に及ぶ疲弊から関連事業者も含めて立ち直れずにいる。これまで市では、国や県の支援と合わせてこうしたコロナ禍で苦しんでいる事業者への支援を行ってきたが、今後、更に財政調整基金の一部を取り崩すなどして支援を行うべきと考える。経済対策について、今回、市単独で新たな支援策を行ったことに対しては大変大きな評価をしているが、市では市内経済状況をどのように把握し、また、今なお厳しい状況に苦しむ事業者に対する新たな支援拡大を行う考えはないか。</p>
29 番 上 野 公 悦	



順位 議席 氏名	質 問 事 項
18  4 番 鈴 木 め ぐ み	1. 一般公営住宅入居世帯への除排雪支援について (1) 一般公営住宅に入居している世帯は、入居要件として住宅に困窮する低所得世帯である。今冬の様々な生活物資の値上げにより、一般世帯に比べ家計が逼迫していると想定されるが、住宅使用料の支払状況はどうか。 (2) 一般公営住宅における駐車場の除排雪の管理状況はどのようになっているか。 (3) 一般公営住宅の除排雪作業については、市による一括管理又は入居者の負担分を助成すべきと考えるがどうか。  2. 市の脱炭素社会の実現及び農山漁村での再生可能エネルギーの導入に向けて (1) 市の脱炭素社会(ゼロカーボンシティ)の実現に向けた取組の中で、明確なゴールとして、いつまでに何をどこまで達成させるのか、計画を聞きたい。 (2) 脱炭素社会の実現に向けては、再生可能エネルギー(以下「再エネ」という。)の導入が前提であり、市民・事業者・市が一体となって取り組む必要があると考える。市民参画型の上越市再エネ導入推進協議会を設立し取り組んでいくべきと考えるがどうか。 (3) 公共施設への太陽光発電設備の設置だけでは、脱炭素社会の実現を達成できるとは考えられないが、どう考えるか。 (4) 公共施設以外の建物の屋根や農地に再エネ導入の大きなポテンシャルがあると考え。まずは新潟市の取組のように、これらを想定した導入ポテンシャル調査を、次期地球温暖化対策実行計画策定と合わせて実施すべきと考えるがどうか。 (5) 地域循環経済として、再エネを市内で地産地消する考えはあるか。また、エネルギーミックスの観点から、どの種類の再エネで需要電力の何割を目指すのか。地域電力会社の設立も計画としてあるか。 (6) 市は、今後も再エネ導入の積極的検討・推進に取り組む姿勢を示していることから、市内の農林漁業の健全な発展と調和のとれた再エネを促進し、かつ、農山漁村の活性化を図るためにも、「農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律」に基づく「基本計画」の作成について、次期地球温暖化対策実行計画に盛り込み再エネの最大限の導入に向けた取組をすべきと考えるがどうか。

順位	質 問 事 項	
議席 氏名		
<p style="text-align: center;"><b>19</b></p> <p style="text-align: center;"><b>23 番 大 島 洋 一</b></p>	<p><b>1. 産業振興政策について</b></p> <p>(1) 市長は、当市の産業の現状をどう認識し、今後何をどのように実行しようと考えているか。</p> <p>(2) 市長は、視点2の「共創の推進」の中の一つに、「起業・創業、イノベーション」を挙げ、創業促進のための補助など4項目を挙げた。この趣旨を聞きたい。</p> <p>(3) 起業・創業イノベーションに関する取組として、中小事業者等イノベーション促進事業、創業スタートアップ支援補助、サテライトオフィス誘致支援業務委託などを新たに事業化しているが、これらの目指すところと、どのように進めようと考えているのか聞きたい。</p> <p>(4) 起業・創業、イノベーションを促進していくためには、研究所などを誘致し、新産業育成、技術力向上を図るべきと思うが、市長の考えを聞きたい。</p> <p><b>2. 「知・徳・体」を育む学校教育の推進について</b></p> <p>(1) 上越市第6次総合計画で「知・徳・体」を育む学校教育の推進を図るとしているが、経済や社会の現状と今後を考えると学校教育はどうあるべきか教育長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) いわゆる新過疎法での過疎地域において、急激な人口減少が進んでいるが、今後どのように学校教育を推進するか、適正配置、環境整備、学校教育、部活動、地域との関係など考えを聞きたい。</p>	
順位	質 問 事 項	
議席 氏名		
<p style="text-align: center;"><b>20</b></p> <p style="text-align: center;"><b>11 番 宮 川 大 樹</b></p>	<p><b>1. 上越地区における広域最終処分場について</b></p> <p>(1) 県は、本年3月7日に産業廃棄物広域最終処分場候補地を柿崎区下中山、同竹鼻地内の2か所に絞り込むこととしたと発表した。これを受けて以下の点について聞きたい。</p> <p>ア どのような経緯で候補地が絞り込まれたのか。</p> <p>イ 地元町内や周辺町内、漁協等の関係団体との合意はされているのか。</p> <p>ウ 今後のスケジュールと市の関わり方はどのようになっているか。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
21	<p>1. 地域の医療を守ることについて</p> <p>(1) 市長は12月定例会で、「医療、介護体制については、市民が安心して暮らせるような体制を万全で取れるように配慮したい」と答弁したが、一方、今議会では「ある程度の統合は必要」とも答弁した。それぞれ詳しくはどうか、次の各点について地域医療構想との関連も含め具体的に聞きたい。</p> <p>ア 市内の医療提供体制の将来像をどのように考えているのか。</p> <p>イ 「市民の視点から安心して暮らせるような体制」とは、どのような体制を指しているのか。また、その実現のためにどのようにしていくべきと考えるか。</p> <p>ウ 上越市内あるいは上越医療圏の医師不足の現状をどのように捉えているか。</p>
20 番 平 良 木 哲 也	<p>2. 子育て支援について</p> <p>(1) 市長は「子育て全国一を目指す」としており、子育て世帯のみならず、人口減を憂える多くの市民にとって大変心強い励みになっている。そこで、このことを具体的にどのようにして実現していくのかを次の各点について聞きたい。</p> <p>ア 子育て支援の視点をどのように捉えているか。</p> <p>イ 特に保護者負担の軽減が重要であると考えますが、18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化は来年度予算には計上されていない。今後、どのように考えているか。</p> <p>ウ 子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
22  8 番 高 山 ゆ う 子	<p>1. 「子育て全国一」を目指すために必要な保育環境について</p> <p>(1) 市長は、「子育て全国一」を目指し、子育て環境の充実(子育てと仕事の充実)と個々の家庭環境に寄り添う支援を強化し、全ての子どもと子育てに関わる人が子育てしやすい環境づくりを推進するとしているが、園児数の減少や施設の老朽化に伴う公立保育園の在り方や、民営化が進む中、子どもを預ける保育環境は万全なのか。</p> <p>2. コロナ禍における在宅介護の状況と通所介護施設等の状況について</p> <p>(1) 市内の在宅介護世帯数やその実態を聞きたい。様々な事情により在宅介護を選択されている方の介護負担は大きく、高齢の介護者は共倒れになりかねない状況にあり、訪問介護等による負担軽減の検討と対策が必要と思うが、市として在宅介護に対する取組をどのように考えるか。</p> <p>(2) 在宅介護者がコロナに感染した場合の要介護者への対応は自治体任せになっているが、当市の対応状況について聞きたい。</p> <p>(3) コロナ禍で利用者自身が陽性になり、施設に通えない場合や施設から陽性者が出てしまった場合など、通所介護施設等の利用者数減少によって厳しい経営が続いている市内の通所介護施設等の状況はどうか。また、そのような施設等に対し、市として支援は考えていないのか。</p> <p>3. 働き方改革と人事改革プロジェクトについて</p> <p>(1) 市長は「人事改革プロジェクト」を掲げ、1年をかけて風通しのよい職場づくりを目指す考えであるが、職員の長時間勤務の状況と当市の目指す働き方改革について聞きたい。また、メンタル不調による病気休暇・休職の状況とそうした職員に対する対応等について聞きたい。</p> <p>4. 移住・定住促進について</p> <p>(1) 当市における移住・定住促進の取組状況と移住・定住コンシェルジュを配置し取り組んできた効果を聞きたい。また、市独自の戦略はあるのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
23  2 番 安 田 佳 世	<p>1. 上越市の課題とこれからの市政運営について</p> <p>(1) 上越市が抱える課題は何か。その課題に対して「今すべきこと」と「将来に向けてやるべきこと」をどのように考えているか。</p> <p>(2) 「若者が帰ってきたいくなるようなまち」の実現について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 上越市が「若者が帰ってきたいくなるようなまち」になるためには、どのような取組が必要だと考えるか。</p> <p>イ 上越市に帰ってきたいという想いを持つためには、幼少期からの地域に愛着を持つことができるような取組と、その後も上越市とつながることができる取組が必要であると考えます。そのような取組を行う、又は拡充する考えはあるか。</p> <p>(3) 公約プロジェクトをはじめとする事業の進め方について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 公約の実施に当たり、プロジェクトの形態をとった理由は何か。</p> <p>イ 公約をはじめとする様々な事業を効果的に実施するためには、部局横断的な対応は欠かせない。そのためには、個々の質を高めることと、部局横断的な連携が取りやすい環境の整備が必要だと考えるが、どうか。</p> <p>2. 上越市の魅力の創出と発信について</p> <p>(1) 上越市のどのような魅力を磨き上げていくのか。</p> <p>(2) 上越市の魅力の最大化のためには、各分野が連携をしながら、総合的に上越市としての魅力をつくり上げ、市内外に発信していく必要があると考える。上越市のブランディングと魅力の発信について、どのように取り組む考えか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
24  31 番 橋 爪 法 一	<p><b>1. ロシアのウクライナ侵略と平和政策について</b></p> <p>(1) ロシアのウクライナ侵略を契機に一部で「核共有」論が出ているが、市長の認識はどうか。</p> <p>(2) 非核平和友好都市宣言自治体のトップとして核兵器禁止条約批准を政府に働きかけるべきと思うが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 中学生の広島訪問は重要である。平和記念式典が仮に中止されても被爆地を訪問してもらうことが大切だと思うが、市長の認識はどうか。</p> <p><b>2. 市長の「地域独自の予算」などについて</b></p> <p>(1) 地域活動支援事業の廃止及び新年度の取組について、地域協議会の理解を得ることはできたのか。</p> <p>(2) 市長の考える「目指す地域分権」では、第7次総合計画との関連をどう整理しているか、改めて聞きたい。</p> <p>(3) 市長の「地域独自の予算」は「地域を元気にするために必要な提案事業」の延長線上で考えるのではなく、地域計画に基づくものに発展させる考えはないか。</p> <p><b>3. 豪雪対策について</b></p> <p>(1) 豪雪対策を進める上で、「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だと思うが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 災害救助条例、救助法の適用基準の見直しを県・国に働きかけるべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 要援護世帯除雪費助成制度の見直し状況と制度改善の見通しについて聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>25</b></p> <p style="text-align: center;"><b>21 番 滝 沢 一 成</b></p>	<p><b>1. 中川市長と宮越馨氏が結んだとされる政策協定について</b></p> <p>(1) 中川市長と宮越馨氏が結んだ政策協定の中身はどのようなものなのか。</p> <p>(2) 政策協定を結んだ理由は何か。</p> <p>(3) 実行を約束した項目は何か。あるいは市長が実行したいと考える項目は何か。 また、政策協定に有効期限はあるのか。</p> <p><b>2. 政策諮問委員会に関して</b></p> <p>(1) 政策諮問委員会を将来的に設置する考えに変わりはないか。</p> <p>(2) 政策諮問委員としたい人物がいるならそれは誰か。</p> <p>(3) 政策諮問委員会をつくるのであれば、複数名の諮問委員を置くこと、幅広い人材公募を行うこと、市民委員を公募すること、議会からの委員を加えることを提案するがどうか。</p> <p>(4) 政策諮問委員会の人事案は議会の議決事件とすべきと考えるがどうか。</p> <p><b>3. 克雪・利雪に関して</b></p> <p>(1) 克雪・利雪についての市長の基本的考え方を聞きたい。</p> <p>(2) 消融雪施設整備計画にある加温式消雪パイプの新設工事計画について、その区間を計画的に広げていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 上越市を克雪先進都市とし、世界の先端をいく積極的な克雪施策を行うべきであると考えるがどうか。</p>
順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>26</b></p> <p style="text-align: center;"><b>10 番 宮 越 馨</b></p>	<p><b>1. 予算編成の在り方と市長の政治姿勢について</b></p> <p>(1) 政治の基本理念は「信なくば立たず」である。民主主義制度に基づく選挙の際、私と結んだ政策協定、すなわち、政策協定書には「立候補予定者中川幹太は、合意した政策協定の内容については、市政に反映すべく具体的で実効性のある施策に取り組んでいくことを確認する。」となっているが、重要政策はほとんど予算化されていない。公約した協定をどのように受け止め、新年度予算を編成したか、その考えと背景について問う。</p> <p>(2) もう一つの政治の基本理念は「政策が第一」「困っている者を助ける」である。とりわけ現下のコロナ禍で、大きなダメージを受けている小規模零細(店舗)事業者への緊急支援は喫緊の課題であると思う。こうした人たちに対策を講じる考えはあるかを問う。</p>

- (3) 人口減少は国難といわれる中、人口減少対策の具体策として政策提言している「子供年金制度」に関する「ニーズ調査」を、12月定例会では検討すると表明していたものを、なぜ新年度予算において予算化しなかったか、その理由と背景について聞きたい。
- (4) 市長の政治姿勢について、かなりの市民などから、選挙後左翼革新市長誕生との声がある。選挙応援を決める際には、市長は私と同じく保守の改革派とっていたが、改めて市長の政治思想は何かを聞きたい。
- (5) 市長のPRビデオ(自己紹介動画)の狙いと経歴について聞きたい。

## 2. 市政改革の在り方について

- (1) 上越市における中川改革ビジョンはどのようにしようとしているのか。今のところの印象は思い付きの面が強く出ている。昨年の12月定例会での、政策諮問委員制度・4人副市長制はその典型だ。その真髓を聞きたい。
- (2) 新年度予算の中で、人事改革のほか8つのプロジェクト(地域自治推進・地域交通・子育て・健康・防災・農林水産・脱炭素社会・通年観光)を立ち上げようとしているが、これは現在の行政サービス体制の看板の架け替えに過ぎず、現在の組織体制とダブる行政執行体制に映る。横串を入れるというが、それがかえって複雑化し行政事務の多重化を生み、逆に行政執行体制を非効率化させ、結果的に行政コストを増加させるおそれがあると思う。その関係性について問う。
- (3) 大きな問題を抱える大合併後のガバナンスの在り方を問うとともに、私はブロック制の導入で頸北・東頸・中頸ブロックに支所を置き、副市長を充て住民サービスの向上に当たる体制を提案しているが、こうした行政システム改革についての可否について所見を聞きたい。

## 3. 上越市における2050年問題について

- (1) 2050年には日本の人口が約1億人に、上越市の人口は14~5万人と推計されているが、そうした現実はどう向き合うかを問う。
- (2) 上越市における社会経済インフラ整備の在り方、特に災害から守る「保倉川放水路」及び中山間地を救う「上越魚沼地域振興快速道路」の早期整備についての取組について問う。
- (3) 新幹線駅周辺のまちづくりは、2050年くらいの長期ビジョンをもって対応すべきと考えるが、構想のイメージを聞きたい。
- (4) 私のビジョンに「農都共生社会=農都市」の実現を目指すという考えがある。こうしたビジョンはSDGsの理念に通じており、わが市の持続的発展の理念にも合致するものであるが、こうした考えの下でのまちづくりについて所見を聞く。
- (5) カーボンニュートラルゼロ社会へ向けての具体策を、どう描こうとしているかを聞きたい。